

様式第4号（第5条関係）

令和8年3月31日

古賀市議会議長 渡 孝二 様

議員名 結城 弘明

令和7年度 政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 令和7年度 政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
  - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
  - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
  - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

令和7年度 政務活動費収支報告書

議員名 結城 弘明

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	支出内訳書の番号
調査研究費		
研修費	62,550	1
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費	20,900	2
事務費		
支出合計		83,450 円

3 残額 36,550 円

別紙2

令和7年度 政務活動費支出内訳書

番号	期間	内容	経費 (円)	備考
1	令和8年2月5日 令和8年2月6日	昭和の議会から令和の議 会へ	62,550	領収書No. 1, 2
2	令和8年3月27日	書籍購入費	20,900	領収書No. 3
3				
4				
5				
6				
7				
8				

※研修及び視察には報告書を添付のこと

# 領収証

2026年2月5日

結城弘明

様

★ ¥60,000

但

- 2026/2/5(木)10時～宮本講師【博多】議会・議員の未来
- 2026/2/5(木)13時半～宮本講師【博多】治水・防災減災の未来
- 2026/2/6(金)10時～宮本講師【博多】地域福祉の未来(認知症・介護)
- 2026/2/6(金)13時半～宮本講師【博多】学校統廃合の未来

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835

**領 収 書 No.078258**  
 登録番号: T6290001012621  
 結城 弘明 様

ご利用金額 ¥450- (現金利用)  
 上記の金額を領収しました。税10%  
 購入商品 JR乗車券類  
 年月日 2026年 2月 5日  
 九州旅客鉄道株式会社  
 古賀駅POS001発行

**領 収 書 No.078268**  
 登録番号: T6290001012621  
 結城 弘明 様

ご利用金額 ¥450- (現金利用)  
 上記の金額を領収しました。税10%  
 購入商品 JR乗車券類  
 年月日 2026年 2月 6日  
 九州旅客鉄道株式会社  
 古賀駅POS001発行

**領 収 書**  
 結城 弘明 様

金額	<b>450</b>	円
----	------------	---

上記の金額を領収いたしました。  
 購入商品 JR乗車券類 消費税10%  
 2026年 2月 6日

九州旅客鉄道株式会社  
 登録番号: T6290001012621 博多駅

### 古賀第1駐車場

#### 領 収 証

精算機 #01 A 精算No.000202  
 発券機 #01 発券No.092838  
 入庫時刻 2026年 2月 6日(金) 08:42  
 出庫時刻 2026年 2月 6日(金) 18:04  
 駐車時間 9:22  
 駐車料金 A料金 600円  
 =====  
 合 計 600円  
 現金領収額 600円  
 お預り 600円  
 お釣り 0円

合計は消費税10%対象です。  
 登録番号: T9290001036790  
 古賀市駅東3-2-1  
 またのご利用をお待ちしております。

### 古賀第1駐車場

#### 領 収 証

精算機 #01 A 精算No.000146  
 発券機 #01 発券No.092791  
 入庫時刻 2026年 2月 5日(木) 08:48  
 出庫時刻 2026年 2月 5日(木) 17:32  
 駐車時間 8:44  
 駐車料金 600円  
 =====  
 合 計 600円  
 現金領収額 600円  
 お預り 600円  
 お釣り 0円

合計は消費税10%対象です。  
 登録番号: T9290001036790  
 古賀市駅東3-2-1  
 またのご利用をお待ちしております。

# 人口減少時代を生き抜く自治体の4つの決断 昭和の議会から令和の議会へ

人口減少、財源縮小、災害の激甚化、そして認知症と介護の急増——。現実はまだ待ってくれません。にもかかわらず、議会が“昭和の作法”にとどまり、形式的な質疑や前例踏襲を続ければ、意思決定は遅れ、町は静かに壊れていきます。決めるのは市長ではなく議会です。

必要なのは「何を捨て、何に投資し、いつ決めるか」という覚悟ある選択。

本セミナーは、議会、治水・防災、地域福祉、学校統廃合の4領域で、取るべき具体策と優先順位を、講師の経験や事例、データと現場感で提示します。明日の質問と政策提案に直結する“決断の材料”を持ち帰ってください。

## 1/4 水 東京 2/5 木 博多

### 10:00~12:30 議会・議員の未来

- ・ 「議員いらない？」人口減少で問われる議会の存在意義
- ・ 定数・報酬を削って空洞化？議会の本来の活動とは
- ・ AI時代、議員の役割は意思決定と合意形成に回帰する
- ・ 若手・女性不在で代表性崩壊？議会運営の不思議ルール
- ・ 二元代表制の勘違い？市長と議会の関わりと各地の事例

### 13:30~16:00 治水・防災減災の未来

- ・ 「想定外」が日常になる時代——水害・土砂災害の新常識
- ・ ハザードマップを“動ける情報”に客観的に我が街を見る
- ・ 命を守る治水対策・投資の順番——護岸？内水？遊水？費用対効果で決める
- ・ 防災減災で住民を守る——猛暑・感染症・要配慮者対策
- ・ ドローン・AI・アプリの使いどころ——テクノロジーの限界と現実解

## 1/5 木 東京 2/6 金 博多

### 10:00~12:30 地域福祉の未来（認知症・介護）

- ・ 認知症800万人時代——見守り・徘徊・事故をどう減らすか
- ・ 介護保険の持続可能性——負担増とサービス縮小、自治体の打ち手
- ・ 独居高齢者の孤立死を防ぐ——地域の“目”を制度にする
- ・ 家族に押し付けない仕組み——在宅・施設・中間支援の再配置
- ・ 地域包括ケアの実装——机上から現場へ、KPIで回す運用術

### 13:30~16:00 学校統廃合の未来

- ・ 児童数激減で進む廃校——“町の灯”をどう残すか
- ・ 通学時間と安全のトレードオフ——路線、スクールバス、見守り網
- ・ 統廃合で教育の質は上がるのか——学級規模・教員配置・部活
- ・ 廃校活用の勝ちパターン——医療・福祉・産業・観光への転用
- ・ 議員時代に経験した統廃合の事例と経緯について

みやもと しょういち

**宮本 正一** 元 寝屋川市議会議員、日本公共経営研究所代表、元 吉野町役場政策アドバイザー

1967年大阪府生まれ ポストン・ウェントワース工科大学卒業、神戸大学経営大学院でMBA（経営学修士）、大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号（公衆衛生学）を取得。厚生労働省 厚生労働研究「ワクチン疫学研究班」研究員（～2023）、同志社大学生命医科学嘱託講師 担当科目「解剖学概論」（～2023）、吉野町役場政策アドバイザー（～2024）

【著書】「サービス産業経営論（第7章自治体の経営）」（税務経理協会）

平成7年に27歳で寝屋川市議会議員に初当選（無所属）  
5期20年間市議会議員（第54期寝屋川市議会議員）  
大阪府知事選他、17の選対本部で事務局長  
アメリカ大統領選挙も視察（クリントン、トランプ1期目）



❗ 電話番号、FAX、  
メールアドレスが変わりました！

**FAX : 050-6875-7448**

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。  
【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み

**mail@chihogiken.or.jp**



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、  
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて  
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	東京 1.14(水)	博多 2.5(木)
10:00~12:30 議会・議員の未来		
13:30~16:00 治水・防災減災の未来		

	東京 1.15(木)	博多 2.6(金)
10:00~12:30 地域福祉の未来		
13:30~16:00 学校統廃合の未来		

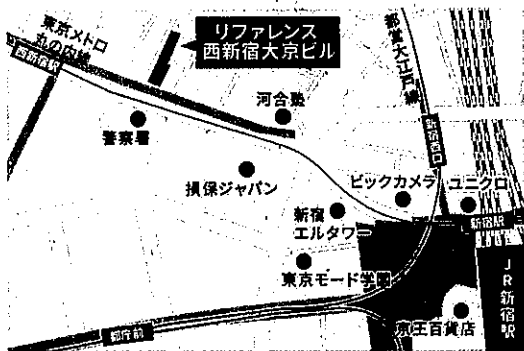
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。  
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

フリガナ お名前			貴議会名	( 期目)
電話番号	( )	—	FAX番号	( ) —
メールアドレス				
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。			
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加（資料・USB動画データ・領収書郵送希望） 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので画質、音声の品質は保証いたしかねます。			
郵送先住所 ※郵送ご希望の方は ご記入ください	〒 —			

**東京会場 リファレンス西新宿大京ビル**

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7丁目21-3

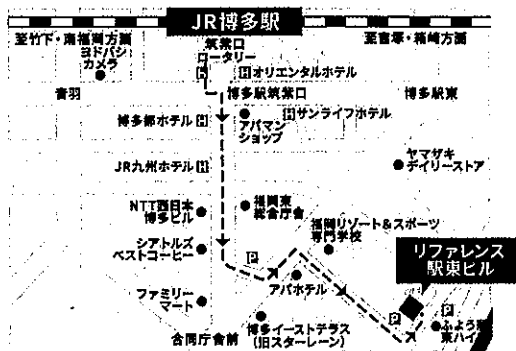


Googleマップ  
 東京メトロ丸の内線 西新宿駅 1番出口 徒歩1分  
 都営大江戸線 新宿西口駅 D4出口 徒歩8分

**博多会場 リファレンス駅東ビル**

〒812-0013

福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14



Googleマップ  
 JR博多駅 筑紫口 徒歩4分  
 博多イーストテラス(旧スターレン)方面へ向かい「アパホテル」角を右折。  
 左側ガラス張りのビル(1階コインパーキング)

**受講料**

**1講座15,000円**

受講料は【受講確認書】到着後、事前のお振込みをお願いいたします。

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ① キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

**お問合せ 地方議員研究会**

TEL 050-1089-9835  
 FAX 050-6875-7448  
 chihogiken@h3o.works  
 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区清見町362-28

参考様式

支出内訳書の番号 <u>1</u> 調査研究報告書	
1 名称	1, 議会・議員の未来 2, 治水・防災減災の未来 3, 地域福祉の未来 (認知症・介護) 4, 学校統廃合の未来
2 目的	調査研究のため
3 実施時期	令和 8年 2月 5日～6日
4 実施場所	福岡市博多リファレンス駅東ビル
5 参加者	結城弘明
6 その他	報告書別途添付

昭和の議会から令和の議会へ（政務活動）

報告者 結城弘明

日時 令和8年 2月5日～6日  
場所 於：リファレンス博多  
研修者 結城弘明  
内容 (テーマ) 1日目「議会・議員の未来」「治水・防災減災の未来」  
2日目 地域福祉の未来 「学校統廃合の未来」

講師 地方議員研究会 宮本 正一 元寝屋川市議会議員

議員・議会は要らない問題

1, 議員は何をしているのか分からない

人口減少の中市民には厳しい目を向けられている、特に活動の状況が分からないや、ブラック BOX 化している、報酬に見合う成果や貢献が実感できないという厳しい視線は議員定数を減らすべきとの声が後を絶たない。一方定数削減や報酬削減で議会機能を低下させてはならない、機能の形骸化が懸念される。特に人手不足による、常任委員会の専門的な議論や独自の調査研究活動の維持できなくなる危険性がある。議会の本来の活動である監視・評価や政策立案提言機能、そして最終的に自治体として最終意思決定機能は最も重要な役割である。

「AI時代の役割転換」

情報をAIに整理することで、議員は人間ならではの納得感の醸成や倫理的判断に時間を注ぐことができ今後はペーパーレスと検索性、オンラインによる会議情報の迅速化・確実化デジタル化による双方向のコミュニティーの実現は益々避けては通れないツールになると確信する。

2, 治水・防災災害の未来問題

「想定外が日常になりました」

日本の治水対策は20年かかると言われています。起こり得ないことが起こるのが近年の災害で有ります。つまり気候変動位により、過去の統計データに基づく予測が通用しない時代へと突入

したので有ります。特に検証すべきは以下の3点で有ります。

- 1, 局地的大雨即ち、激甚化する大雨であります。時間雨量50ミリ以上の発生頻度大幅に増壊滅的被害をもたらせます。
- 2, 線状降水帯の多発背有ります。

予測困難な局地的集中豪雨がこれまで、安全とされたところもそうでなくなる。

3, 土砂災害リスクの増大で有ります。

警戒情報の基準を超える雨量が頻発し、斜面崩壊のリスクが急上昇してくる。従来の防災対策の枠組みを見直し最悪の事態を前提とした備えが不可欠で有ります。

また、これら対応できる職員不足はどの自治体も問題視されている。

一地方自治体での解決は困難の為国策として声を上げるべきと思います。

便利を追求するが負担を忘れ大きな課題を背負ったのが今であると認識すべきだ。

### 3, 地域福祉の未来

認知症・介護について学んだ近い将来認知症800万人時代が到来し高齢社会の課題到来すると覚悟はするも当座身近な問題として捉えがたい。

行政の見地から見守り・俳諧・事故を防ぐ等の政策は喫緊の課題で有ります。

介護保険の持続性、独居高齢者の孤独死等は家族単位では解決しがたい。

地域包括ケアや福祉協議会等の現場に即した行動は今後特に変革が必置である。

### 4, 学校統廃合の未来について

児童数激減の時代「町の灯」をどう残すか（地域再生と教育環境の適正化に向けて。

小学校児童数 1, 990年920万人であり、2025年は600万人とされ毎年約450校が廃校になっている。信じられないペースで有ります。

これは「1日1校以上」のペースで学校が消えている計算になります。

ここ10年で小・中学校の1割に当たる1,000校が統合されているが標準規模に満たない学校が約半数存在すると言われている。今や各市町村の実績に応じた活力ある学校づくりを推進する必要と、奇しくも満たない場合の対策委を想像しているかが問われている。

#### 学校規模適正化・適正配置等に係る検討

統廃合については、施設を考える要素として以下考えられる、

- 1 避難場所として防災機能強化のあり方
- 2 小中一貫校の導入
- 3 他の公共施設の機能の導入
- 4 適切な財政負担の軽減

これらは国が決めるのではなく地方自治の事務事業である。

古賀市においては対岸の火事とせず地域社会に於ける優先度と財政運営全体としての視点も持たねばならない。

NO.3

¥20,900-

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

古賀市議会 結城弘明

様

令和 8 年 3 月 27 日

¥ 20,900

但書 籍

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 ¥ 19,000

消費税額 ¥ 1,900 (10%)

公園7番7号

政  
県

ステーション

登録番号 T8-2900-0100-8262

TEL/FAX 092-641-7838

# 盛土等 防災マニュアルの 解説

盛土等防災研究会 編集



9784324113301

ISBN978-4-324-11330-1 C3082 ¥19000

定価(本体19,000円+税)

[5108902-00-000] ※分売不可



1923032190008

